



1st community
わたらせ

広報紙第16号

“だより”



謹賀新年

新年のごあいさつ

発行 古河第一地区コミュニティわたらせ
広報部会
2023.1.1
問い合わせ

第一地区コミュニティわたらせ 会長 井上 淳

明けまして おめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

旧年中はコミュニティわたらせの行事にご協力ご参加をいただきありがとうございます。

コロナ禍の終息も儘ならないなか防災安全・健康福祉・歴史文化・広報の4部会による事業は十分な感染防止対策をもって実施に当たりました。

事業を通じ、少しずつではありますが地域内にコミュニティの輪が広がり「わたらせ」が認知また各事業の実施は会員相互の融和と親睦にも繋がり、これからの事業推進の礎になったと思います。多くのご苦勞に感謝申し上げます。今年はより良い事業推進に向け、さらに研鑽いたしましょう。

カタールwカップサッカー日本代表の素晴らしい活躍とサポーターの応援・清掃奉仕に世界中から賞賛が寄せられました。礼に始まり礼に終わる日本文化の神髄です。令和4年締め清々しく立派な出来事です。今年は葵年・寒気が緩み萌芽を促す年・希望が芽吹くと言われます。また鳶目兎耳(えんもくとじ)遠くを見る聞き洩らさない、これまでの多くの努力が実を結び勢いよく飛躍すると。も古来よりいわれています。素晴らしい一年になることを期待します。

防災安全部会 部会長 松井 晃

令和5年の輝かしい新年を迎え、謹んでご祝辞を申し上げます。

昨年はコロナ感染拡大も、減少に転じ当部会も少しずつではありますが、皆様のご理解を頂き活動をしてまいりました。昨今は天候不順により災害も想定されますが、皆様の大切な命を守るためには「自助・共助・公助」の段階で自助・共助で多くの人命が救われると思います。「自助」は個人の責任で進めますが、「共助」は助け合う地域社会の連携が必要です。日ごろから地域のコミュニティがしっかりしていないと住民同士の救出は成り立ちません。

防災安全部会は、子どもと高齢者を見守り活動・防災活動・防災センター見学・マイタイムライン作成等をして防災・防犯知識の習得を学んでまいりました。今年も地域のために、各種施策を企画実行してまいりたいと考えておりますので、皆様方の積極的なご参加・ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

健康福祉部会 部会長 一色 常夫

昨年秋にはコロナ禍でありましたが、出前講座を開催することが出来ました。皆様のご協力、ご参加ありがとうございました。

さて、新しい年を迎え、当部会では、皆様がより一層生き活きた日々を過ごすことが出来るよう提案していきたいと思えます。

散歩(ウォーキング)は心身をリフレッシュすると言います。幸い当地区は渡良瀬川に面し、土手からの眺望は日光連山等を望める環境にあります。大きく背伸びをし、新鮮な空気を吸って楽しく歩いてみませんか。足元をしっかりと確認してから歩きましょう。

皆様が今年一年より一層健康でありますように願っております。

歴史文化部会 部会長 鷲尾 政市

新年おめでとうございます。

昨年はコロナ感染症にもめげず、各部会相互の協力のもと各種事業が実施できました。

第一地区コミュニティの特色は何といても歴史博物館・鷹見泉石記念館・奥原晴湖画室・文学館・篆刻美術館・街角美術館・永井路子旧宅といった文化施設が所在していることです。一定のエリアにこれほどの施設がそろっているのは全国的にみてもあまり例がないと思います。今年も各施設と連携をとりながら歴史文化部会の活動を進めます。

広報部会 部会長 佐藤 容子

新年あけましておめでとうございます。

昨年9月より始まりました「わたらせだより」掲載の自治会名の由来や自治会自慢などのシリーズは多くの皆様のご協力のもと、現在まで第一地区約半分の自治会を紹介し、地域の皆様に大変ご好評をいただいております。

この地区の知らなかった名所・史跡・古河の歴史などにふれることが出来ました。この先も随時掲載しますので、ぜひご期待下さい。

まだ続くコロナ禍ですが、部会メンバーのもと、「わたらせだより」の毎号発行、全戸配布を継続していきたいと思えます。

今年もよろしくようお願い申し上げます。